

賛否の公表

※採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。

賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。

これ以外の案件は全会一致で可決等しました。

発議案第13号

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

【反対討論】 この意見書は、国民健康保険の財政が厳しくなったのは国庫負担率が下がったこととし、国庫負担を見直し増額することを求めています。国庫負担率の低下が財政悪化の根本原因ではなく、最大の要因はほかの被用者保険制度の対象者とならない、すべての方を対象としているという制度上の問題と考えます。生活困窮者への対応をどうするかという点で、国保の低所得者医療制度の創設や保険料の支払いによる最低水準を下回る生活となる場合に、別途保険料を支給する制度等、検討しなければならぬ現状にあります。将来にわたり国民皆保険制度を真に社会保障として定義するため、国庫負担率を含め、制度改革の議論の場には、現場の市町村の声を取り入れ、適時情報を開示することとを国に求めるべきと考えることから反対します。

【賛成討論】

国民健康保険制度そのものが事業主負担がない、そういう中で社会保障制度として国民健康保険法にきちんと位置づけられているため、国が国庫負担額を十分保障してこの制度を存続させることはごく当たり前です。制度改革

正の問題は制度改正の問題として、この国庫負担率増加を求める意見書に反対というのは理解できない点から賛成します。

請願第9号

沖縄普天間基地に関する「日米共同声明」を破棄し無条件撤去を求める請願（総務常任委員会の審査結果【不採択】に対する討論）

【反対討論】 平和憲法9条をもつ日本

の沖縄に、在日米軍基地の75%が集中し、沖縄本島の2割の土地が基地に占領され、宜野湾市にある普天間基地は住宅地に隣接する、世界一危険な基地といわれている。米軍基地がもたらす沖縄県への経済の依存度は基地収入の5%であり、反対に基地が返還された場合の経済効果は数十倍になると試算されています。沖縄の米軍基地はアメリカの戦争のためにあるようにしか見えず、基地は攻撃対象にもなります。米軍再編、辺野古新基地に3兆円もの税金が費やされる現実を医療や福祉に回せばどれだけの人々の命が助かるものかと考えるものであり、以上のことから請願を採択すべきであると考え委員長報告に反対します。

【賛成討論】

普天間問題は今日日本とアメリカでさまざまな角度、トランプ交渉もさることながら、日本の外交の大事な局面として交渉中で

す。請願項目に沖縄普天間基地に関する日米共同声明を破棄し、米軍基地の無条件撤去を求めるとありますが、そういうわけにはいきません。日本とアメリカの長い間の信頼関係、この軍事だけでなくさまざまな問題が生じてくるだろうという感じを強くもちました。以上のことから請願項目に賛同できるものでなく委員長報告に賛成します。

【反対討論】

日米共同声明というのは5月28日に発表されたものであり、アメリカ海兵隊普天間基地の移設に関する共同声明ですけれども、これは日米安保条約をどうのこうのという議論ではなく、あくまでも普天間基地の問題であるので、それは両国の信頼関係の中で決めていくものであります。沖縄県知事選挙の際にいろいろな世論調査がなされ、沖縄県民の70%が県内移設反対という中で、国として責任をもった共同声明になっっているかというところはいえませんが、現職の知事も沖縄県内の移設反対と明確な公約を掲げて当選しているわけですので、それはやはり民主主義国家として見直しをすべきことが本来求められるものであると思います。日米関係が壊れるとか、そういう議論をするほうが、私は基本的には無理があるという点で、委員長の報告に反対します。